

令和3年度学校評価アンケートについて

1 目的

学校経営方針や教育活動全般に対する意識やニーズ等を把握し、学校運営の改善方向を探るとともに、その成果を把握し、鹿児島南高等学校の教育活動を更に充実・発展させる目的でアンケート調査を実施する。

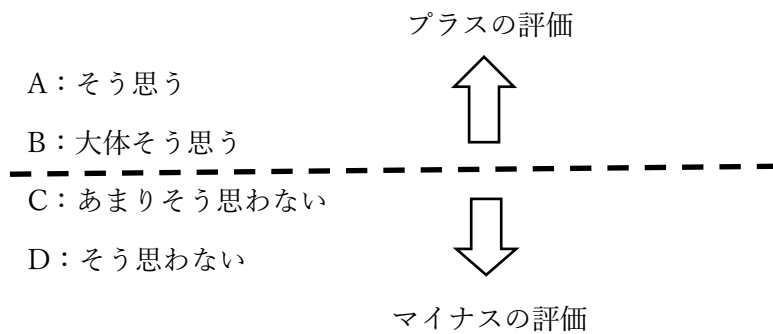
2 実施日

令和4年1月11日(火)～21日(金)

3 回収サンプル数

- (1) 教職員： 71 人
- (2) 生徒： 816 人
- (3) 保護者： 788 人

4 評価基準



1 教職員のアンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価の観点（具体的な評価項目）	プラスの評価	A	B	C	D	前年度プラスの評価
			そう思う	大体 そう思う	あまり そう思わない	そう思わない	
1	担当する校務を工夫・改善し、遂行できた。	96%	20	48	3	0	92%
			28%	68%	4%	0%	
2	SHRや終礼など機会あるごとに、生きていることや学ぶことの意義など人生を豊かにする話を生徒にしている。	94%	19	46	3	1	96%
			28%	67%	4%	1%	
3	学習と部活動が両立できるように学習時間の確保を配慮し、的確な学習指導を行っている。	91%	24	38	6	0	97%
			35%	56%	9%	0%	
4	生徒に将来の目標を掲げさせ、その実現に向け努力させている。	96%	23	43	3	0	100%
			33%	62%	4%	0%	
5	保護者や生徒に、進路に関する必要な情報をきちんと提供している。	91%	18	43	6	0	91%
			27%	64%	9%	0%	
6	分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本をしっかり定着させる指導を行っている。	99%	36	31	1	0	97%
			53%	46%	1%	0%	
7	課題の量は適切であり、きちんと提出させている。	93%	28	35	4	1	94%
			41%	51%	6%	1%	
8	諸機会を通じて生徒の情報等を収集し、指導に生かしている。	96%	21	47	3	0	99%
			30%	66%	4%	0%	
9	自らの教科指導力を高めるための教材研究や指導方法改善に取り組んでいる。	97%	25	43	2	0	97%
			36%	61%	3%	0%	
10	頭髪や服装、挨拶などの礼儀指導や清掃指導に日々取り組んでいる。	99%	35	35	1	0	96%
			49%	49%	1%	0%	
11	いじめや不登校等について十分注意を払い、的確に対応している。	100%	28	43	0	0	97%
			39%	61%	0%	0%	
12	休み時間や放課後など、生徒がいつでも気軽に悩みが相談できるような関係づくりに努めている。	96%	21	46	3	0	87%
			30%	66%	4%	0%	
13	自分の教師力を高めるための自己啓発に努めている。	94%	26	40	4	0	97%
			37%	57%	6%	0%	

(2) 結果分析と今後の対策

ア 全体的にはプラスの評価が9割で高い。しかし、項目3, 5, 7の評価については、他と比べると低い。部活動と学習の両立、課題の量については、生徒・保護者の評価も低い傾向があり、先生方が苦慮している状況が分かる。部顧問、教科担、担任が連携し、適切な練習時間、課題の量について共通理解を図り対応する必要がある。

イ 項目11, 12の評価が昨年度よりも高くなっている。コロナ禍の中で、先生方が生徒の悩みを聞き、その解決に取り組んでいることが分かる。今後も学年・係で情報共有しながら、いじめや不登校等の諸問題に対応する必要がある。

ウ 項目13の評価については、コロナ禍により、様々な研修が中止やオンライン実施になったことが反映されていると思われる。同様の状況が今後も続くと考えられるので、オンライン研修への積極的な参加に努める必要がある。

2 生徒アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 全体調査結果

I (学校や授業に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	前年度プラスの評価
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	86%	302 37%	399 49%	98 12%	17 2%	87%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	92%	360 44%	389 48%	57 7%	10 1%	91%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	89%	364 45%	361 44%	80 10%	11 1%	89%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	91%	437 54%	306 38%	64 8%	9 1%	91%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	85%	308 38%	386 47%	106 13%	16 2%	83%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	78%	232 28%	406 50%	148 18%	30 4%	77%
7	校則や学校のきまりは適切である。	57%	129 16%	334 41%	227 28%	126 15%	72%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	90%	303 37%	432 53%	69 8%	11 1%	87%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	88%	219 27%	497 61%	82 10%	17 2%	85%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	79%	250 31%	395 48%	128 16%	43 5%	80%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	90%	288 35%	448 55%	61 7%	18 2%	87%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	92%	388 48%	365 45%	49 6%	13 2%	91%
13	校内の施設や環境が整備されている。	96%	509 62%	274 34%	23 3%	10 1%	93%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	76%	230 28%	387 47%	157 19%	41 5%	75%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	95%	498 61%	277 34%	25 3%	14 2%	94%

II (自分自身に関すること)

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう思わない	D そう思わない	前年度プラスの評価
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	88%	342 42%	373 46%	84 10%	17 2%	88%
2	授業は予習を十分に受けている。	52%	104 13%	320 39%	301 37%	91 11%	50%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	92%	329 40%	423 52%	58 7%	6 1%	92%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	80%	224 27%	429 53%	138 17%	24 3%	77%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	60%	130 16%	357 44%	265 32%	64 8%	60%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	89%	407 50%	323 40%	72 9%	14 2%	89%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	81%	334 41%	321 40%	95 12%	58 7%	81%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	79%	323 40%	318 39%	143 18%	31 4%	78%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	95%	450 55%	322 40%	30 4%	13 2%	95%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	98%	598 73%	200 25%	14 2%	4 0%	99%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	52%	169 21%	252 31%	261 32%	134 16%	56%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	92%	417 51%	334 41%	53 6%	12 1%	91%

(2) 学科別・学年別調査結果

I (学校や授業に関すること) プラス評価の割合

No.	評 価 項 目	普通	商情	体育	1 年	2 年	3 年
1	充実した高校生活となるように様々な行事がある。	85%	85%	92%	88%	86%	83%
2	一人一人の進路希望に応じた進路指導に取り組んでいる。	90%	94%	91%	89%	91%	95%
3	就職や進学に関する様々な進路情報が提供されている。	86%	93%	87%	87%	86%	93%
4	交通安全や通学マナーの指導に積極的に取り組んでいる。	89%	91%	96%	92%	91%	90%
5	生徒の様々な悩みに親身になって相談にのってくれる。	83%	86%	89%	87%	82%	86%
6	いじめや不登校に積極的に対処しようとしている。	76%	79%	82%	81%	77%	77%
7	校則や学校のきまりは適切である。	52%	59%	66%	62%	48%	60%
8	授業内容を理解させるために、プリント作成等工夫している。	89%	92%	88%	91%	87%	93%
9	分かりやすい授業であり、かつ学力を伸ばしてくれる授業である。	85%	90%	94%	91%	84%	88%
10	日々の学習課題は学力を伸ばすのに適切な量である。	75%	82%	84%	78%	73%	86%
11	授業のレベルは適切で、授業の進み具合も適切である。	87%	94%	91%	91%	88%	92%
12	様々な活動において生徒の健康・衛生や安全に配慮している。	90%	94%	97%	94%	91%	92%
13	校内の施設や環境が整備されている。	94%	97%	99%	98%	94%	96%
14	部活動と勉強の両立が図れるように学習時間が確保されている。	74%	76%	83%	73%	72%	83%
15	部活動の活性化を目指して取り組んでいる。	95%	94%	98%	96%	92%	98%

II (自分自身に関すること) プラス評価の割合

No.	評 価 項 目	普通	商情	体育	1 年	2 年	3 年
1	生徒会活動やホームルーム活動、学校行事等に積極的に参加している。	84%	90%	92%	88%	85%	90%
2	授業は予習を十分に受けている。	56%	51%	42%	59%	40%	57%
3	授業態度は真剣で、集中して受けている。	90%	93%	97%	95%	89%	93%
4	定期考査や課題実力考査の対策のために復習にしっかり取り組んでいる。	79%	81%	81%	79%	78%	84%
5	学習の計画を立てて、宅習時間を十分確保している。	62%	59%	52%	58%	54%	68%
6	課題や提出物は、期限を守って提出している。	86%	91%	97%	91%	90%	88%
7	部活動と勉強との両立に努力している。	76%	83%	90%	84%	78%	82%
8	明確な進路目標があり、将来の進学先や就職先に向かって努力している。	76%	79%	86%	68%	75%	94%
9	服装・容儀・交通規則などを、鹿南高生徒としての誇りを持って行動している。	94%	95%	97%	96%	94%	94%
10	命を大切にすることや他人への思いやり、障がい者などへの理解に努めている。	98%	97%	100%	99%	97%	97%
11	ボランティア活動や地域行事などに積極的に参加している。	53%	48%	58%	44%	49%	63%
12	友人、先生方とよくコミュニケーションをとっている。	91%	92%	96%	91%	91%	94%

(3) 結果分析と今後の対策

ア 全体

- (ア) 「校則や学校のきまり」についての評価が大きく減少している。全生徒に対して、校則の意義について話をする機会も少なく、押しつけられている感があるのかもしれない。まずは、全職員で、校則の重要性と指導のあり方、基準について共通理解し、生徒個々の状況を踏まえた指導を行う必要がある。また、就職・入試担当者、マナー講演会等による啓発の工夫や、生徒・保護者の意見を聞きながら、校則の見直しを検討していく必要もある。
- (イ) 「部活動と学習の両立」、「学習課題の量」については、今年度も低い評価であった。教職員の自己評価でも低い方の項目であることから、その改善に向けて苦慮していることが分かる。今後も生徒達の状況を見極めながらバランスを図り、継続した取り組みを行う。
- (ウ) 「いじめ・不登校等に対する対応」についての生徒達の評価が低く、教職員の自己評価と温度差がある。先生方は、可能な限り時間をかけて対応しているが、生徒からは十分とはいえないのかもしれない。会議の精選や業務の改善等により生徒との面談時間を捻出したい。
- (エ) 「ボランティア活動や地域行事」については、参加希望者も多数いたが、新型コロナの影響で中止になることがあった。次年度も様々な制限が予想される中、多様な体験活動への積極的参加を呼びかけたい。
- (オ) 「他人への思いやり」の項目について、評価が100%となるよう、生徒の人権意識を高める指導を継続して行う。

イ 学科別

- (ア) 商業・情報処理科の「進路指導」、「進路情報」に関する項目の評価が他学科に比べて高い。商業科が実施している進路講演会等のキャリア教育が影響していると考えられる。教育課程の違いや授業時数とのかねあいもあり一概にはいえないが、他学科についても検討する必要がある。
- (イ) 全学科、全学年で「予習」、「計画的学習」についての評価は低い。特に体育科は最も低い評価であるが、「考査に向けての復習」については取り組んでいるようである。全学科において、予習→授業→復習の習慣化させ、考査前だけでなく計画的学習を促したい。

ウ 学年別

- (ア) 具体的な進路実現への取り組みからか、全般的に3学年の評価が高い傾向にある。1・2学年においても進路目標を持たせ、学習意欲につなげる必要がある。
- (イ) 例年のことではあるが、2学年の評価が低い傾向にある。学年団で連携をとり、個々の状況を共有しながら、実態に応じて学習意欲等を喚起する手立てを工夫する必要がある。
- (ウ) 1学年の「授業への取り組み」、「課題の提出状況」、「部活動と学習の両立」の評価が高い。「明確な進路目標」についての評価が上があれば、他評価にも好影響を与え、高校生活の満足度も上がるのが予想される。
- (エ) 3学年の「様々な行事」の評価が低さは、コロナ禍による行事の縮小・中止によるものと思われる。今後も、感染症対策を徹底しながら学校行事を計画的に実施し、有意義な教育活動を行う。

3 保護者アンケート調査の分析と今後の対策

(1) 調査結果

No.	評価項目	プラスの評価	A そう思う	B 大体そう思う	C あまりそう 思わない	D そう思わない	前年度 プラスの 評価
1	本校が掲げる「文武両道～活力にあふれ、自己実現に向けて邁進する学校」は、目指す学校像として適切である。	93%	286 36%	447 57%	52 7%	3 0%	94%
2	学校は基礎・基本をしっかり定着させる授業や、分かる授業に心がけている。	89%	161 21%	532 68%	81 10%	4 1%	88%
3	学校は学習指導において、一人一人に応じた個別指導に力を入れている。	71%	109 14%	433 57%	196 26%	21 3%	69%
4	学校は学力向上のために、十分な取組を行っている。	85%	174 23%	478 62%	115 15%	4 1%	82%
5	学校は就職指導や進学指導にしっかり取り組んでいる。	89%	247 33%	428 56%	80 11%	4 1%	90%
6	学校は自宅学習を十分確保するために、適切な量の課題を出している。	81%	146 19%	484 62%	137 18%	9 1%	80%
7	学校は進路に関する十分な情報を生徒や保護者に提供している。	82%	159 21%	470 61%	133 17%	8 1%	83%
8	学校は生徒指導にしっかり取り組んでおり、生徒の頭髪、服装、挨拶が良い。	95%	361 46%	375 48%	34 4%	8 1%	94%
9	学校ではいじめ・不登校等に対して、的確な対応がなされている。	88%	135 19%	508 70%	76 10%	10 1%	88%
10	学校では教育相談等、日頃から生徒をよく理解する態勢が整っている。	86%	162 21%	494 64%	103 13%	8 1%	87%
11	学校では部活動と学習の両立ができるよう、部活動の時間に配慮がなされている。	76%	146 19%	436 57%	143 19%	44 6%	78%
12	学校は交通安全や通学マナーの指導に十分取り組んでいる。	90%	220 28%	479 61%	76 10%	5 1%	88%
13	学校は様々な学校行事に取り組み、高校生活の充実を図っている。	91%	221 28%	485 62%	67 9%	5 1%	90%
14	学校は生徒の健康や安全に十分配慮した教育活動を行っている。	94%	226 29%	495 64%	48 6%	2 0%	91%
15	学校は様々な教育活動について、情報発信や広報に取り組んでいる。	91%	225 29%	484 62%	65 8%	3 0%	94%

(2) 結果分析と今後の対策

- ア 全体的には、昨年度と同程度の評価である。「個別指導に力を入れている」という項目については、昨年度も最も低い評価であり、改善されていないのは残念である。今後もコロナ禍による自宅学習がある可能性がある。その場合の指導のあり方について、各教科・学年で情報共有し、工夫する必要がある。
- イ 「課題の量」と「部活動時間」についての評価も昨年に引き続き、低評価である。生徒の自己評価でも、学習時間の確保についての評価が低い。メリハリのある計画的な活動により、自宅学習時間の確保について取り組んでいく必要がある。
- ウ 「生徒の頭髪、服装、挨拶がよい」という項目が、最も高い評価を得た。しかし、一方では校則が厳しすぎるのではないかという意見も寄せられている。それらを精選し、検討していく必要がある。